

彩の国ロードサポート NEWS



彩の国ロードサポートについての情報は、県道路環境課ホームページをご覧ください。

道路環境課ホームページ <http://www.pref.saitama.jp/A08/BF00/index.htm>

編集・発行：埼玉県県土整備部道路環境課 〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3丁目15番1号

TEL 048-830-5103(直通) FAX 048-830-1942

ロードサポートの認定状況

平成17年4月1日現在で

189団体

約11,300人

～ 目 次 ～

- 1. 活動者数が10,000人になりました! P 1
- 2. 蛍光ベストと蛍光帽子を貸与いたします P 1
- 3. 「道路愛護の集い」を開催しました P 2
- 4. 彩の国ロードサポート団体の活動報告 P 2
- 5. 花のお世話をしている団体の皆様へ P 4

1. 活動者数が10,000人になりました!

平成14年4月の制度発足以来、皆様の熱心な活動のおかげで順調に発展している「彩の国ロードサポート」の活動者数が、平成17年1月時点で10,000人に到達いたしました。

これを記念して、去る1月17日(月)に、10,000人の節目に同時認定した、本庄県土備事務所管内の本庄東高校や地域住民団体など8団体へ、認定書の交付式が行われました。

県民の皆様のご理解とご協力により、予想を大きく上回るペースで10,000人を迎えることが出来ました。これは、全国にある同様の制度の中で、2番目の活動者数となります。

今後とも、皆様がより活動しやすい環境づくりに向けて、制度の充実に努めてまいりますので、引き続きご協力をよろしくお願いします。



認定書交付式の模様

2. 蛍光ベストと蛍光帽子を貸与いたします

活動中の安全確保と、通行者への活動のアピールのために、かねてより要望の多かった蛍光ベストと蛍光帽子を、この春から皆様に貸与することといたしました。

ベストと帽子には、彩の国ロードサポートの活動であることがはっきりとわかるように下のようなロゴマークを付けます。

順次、皆様のお手元に届くようにいたしますので、ぜひご活用ください。

(ベストは各団体3着までとなりますので、ご了承ください)

なお、高所での作業や歩道以外での作業、エンジンやモーターを用いた機械を使用する作業は大変危険であり、不測の事故の原因となりますので絶対におやめくださるよう、あらためてお願いいたします。

どうしてもそのような作業が必要となった場合は、地域の県土整備事務所へご相談ください。

安全な場所であっても、車両通行の監視役の人を配置するなど、活動中の安全には十分に配慮いただくようお願いします。



ロゴマーク



蛍光ベスト(見本)

3. 「道路愛護の集い」を開催しました

2月11日(祝)に、さいたま共済会館で埼玉県・埼玉県道路協会・さいたま市の主催による「道路愛護の集い」が開催されました。

当日は約290名の方に参加をいただき、道路愛護ポスターコンクールの表彰式のほか、アダプトシステム(ロードサポート)やまちづくりの有識者を招いての講演が行われ、その中で彩の国ロードサポート団体の活動報告も行われました。

そこで、この彩の国ロードサポートNEWSでは、当日、発表いただいた各団体の活動内容をご紹介します。それぞれが貴重なお話ですので、きっと、皆様の今後の活動の参考になると思います。

なお、来年も同様の催しを行いたいと考えております。詳細が決まりましたら、ご案内いたしますので奮ってご参加ください。



4. 彩の国ロードサポート団体の活動報告

綾瀬北花の会(伊奈町)

活動人数：44名

活動路線：県道さいたま栗橋線

発表者：高橋 康一さん

伊奈町の綾瀬北花の会の高橋です。よろしく願い申し上げます。

まず、活動場所ですが、県道さいたま栗橋線の伊奈町小室地内の上り車線約200mで活動しております。

会の今までの経過についてですが、平成13年1月に花を通じて美しい環境づくりに奉仕しようということで、みんなで花を咲かそうと48人の有志で発足しました。

同じ頃、当時の大宮土木事務所に花壇を作っていただき、これを機にきれいな道をスローガンに活動を始めました。

そして、平成14年6月に土木事務所から「道路の里親」の第1号に認定されました。

会の運営には、花の苗代などが必要となりますので、一人1,000円の年会費を集め、時には、バザーを開き育てた苗を販売したりして捻出しています。

また、伊奈町では『みどりの基金』という制度がありますので、花の苗代の半額を補助していただいています。これらによりまして、いろいろな花を1年中咲かせております。

次に、会報誌の中に、こんな文章がありましたので紹介させていただきます。住まいの周りや歩道に花を育てて、付近の清掃奉仕をする何人かの姿がありました。そんな行為に共感を寄せる有志が集まり、地域に呼びかけ心温まる地域づくりを進めようこの花の会が発足しました。

そんな折り、私も『何かの役に立てれば...』とすこしの戸惑いを感じつつ参加を申し込み、今50人の同士に混じり微力を捧げております。こんな文章がありました。

そして、私たちの活動は、住居区域前の歩道の花壇と植栽樹木のまわりの雑草取り、水やり、時には施肥がメインで周囲の清掃が大切な仕事だと思っております。

しかしながら、苦勞の多いのが水やりです。約200m区間に幾つかある花壇に、ジョウロで80杯程の水が必要で、その運搬が夏場では大変な重労働です。

そんな活動から得た、ボランティアの喜びを報告します。

花の会活動参加への呼びかけは、思いかけぬ多くの共感を呼び賛同がありました。花壇の手入れを通じた親睦の広がりは、“花からの嬉しいお返し”と感じております。

日常作業時に、通る人からも度々感謝の言葉をいただきます。中には一緒に作業を手伝ってくれる人もあります。同様に、車の運転の方にも感謝されております。

これはほんの一例ですが、蓮田の郵便局の窓口でのこと、朝に晩に花壇を眺め、心が和むと言われたことがありました。この方は、さいたま市から通勤でここを通るそうです。

また、多くの良識が育つのでしょうか、たばこの吸いがら、ゴミのポイ捨てが激減しています。

最後に、残念なことなのですが、小さな子どもたちが一生懸命植えた苗を持って行ってしまう人がおります。非常に心寂しいかぎりです。

しかし、私たち花の会の活動が、地域の連帯感を生み、犯罪以前の芽を摘む活動であると確信して行っております。



国道254花の会(大井町)

活動人数：62名
活動路線：国道254号
発表者：渡辺 春夫さん

私どもの「254花の会」は、結成して3年が経ちます。国道254号通称「川越街道」が、大井町を東南から西北に走る、その川越市に接するまでの約800mの区間には、グリーンベルト地帯があって、そこが活動場所となっております。そこにはイチョウやブナ科の類、針葉樹など

の高木が枝をひろげており、道行く人の目をなごませております。

しかし、視線を下に向けますと、「254花の会」が活動を始める3年前までは、大小のゴミが散乱していました。ゴミがゴミをよんで、グリーンベルト地帯がダストベルト地帯と化していました。

そこで私どもは、ゴミを拾い集めるとともに、ゴミを捨てにくくしようと心理作戦として、花を植えてこのグリーンベルト地帯を綺麗にしていこうと考えました。これが私どもの「254花の会」の活動の原点となりました。

道路は町の顔でもあります。クレンジングクリームを塗って汚れを取り、紅をつけてうっすらと化粧をしようではないかということです。

現在、会員は、個人が28名、団体は一つで、近くの「ホンダ学園テクニカルカレッジ」が参加しており、先生と学生で34名です。

活動は、毎月1回の定例会の他に、2、3回の予備作業日と臨時作業日を設けております。夏場は朝のうちに始め、冬場は昼過ぎから始めるように、季節により作業時刻を変えています。

作業の内容は、ゴミの収集と落葉などの清掃があります。いまだに空き缶、ペットボトルやたばこなどのポイ捨てがあり、こないだは猫の死骸が捨ててありました。また、草刈りや樹木の小枝の手入れがありまして、土おこし：鍬を入れて肥料をやり、花を植えていく作業があります。次に、花を植えた後の「花の手入れ」があります。風などで倒れた花を起こし支え棒をさしたり、水をやったりの作業です。これらが、私どもの作業の主な内容となっております。

これまでは、このグリーンベルト地帯に植えた花はパンジー、チューリップ、ひまわり、金鶏菊、サルビア、水仙、ジャーマンアイリス、コスモス、エンジェルマーガレット、ゴールドクラッカー、紫陽花、たち葵、ポピーなど結構多くの種類にわたっております。昨年は「菜の花園」もつくりました。イチョウ並木のところでしたが、見事に黄色い花で埋まりました。

これらの花の苗や種は、会員から寄せられたものが多いのですが、私どもの活動をご理解くださる花好きの方々からご寄贈いただいたものもあります。あるいは、中学校などに私どもから頼んで、種からおおしたててもらったものもあります。場合によっては、庭木だった椿の木や藤などもあります。そういった中の一つですが、梅が今を盛りと花を咲かせております。

肥料は、落ち葉などの植物性のものです。夏場の水やりが一苦労なのですが、水は、近くのお店やお屋敷からの貰い水です。一言お断りするのでも、コミュニケーションの一環ですし、たいがい快く汲ませてもらっております。グリーンベルト地帯は道路の照り返しもあって乾燥しやすく、いつも乾いた状態ですから、近くに住む会員は、決まった作業日以外の日でも世話することも多いようです。

交通量が多いところですから、事故に遭わないよう各自十分に気をつけておりますが、会員は、「彩の国ロードサポート」の腕章と光に反射する蛍光性の交通安全チョッキを必ず着用して作業しております。

道具類は多少不足しておりまして、固い土の掘り起こしには鍬が必要ですし、小枝刈りにはなたが必要です。花を植えるためには、はびこった草の根を取り除くのも大変な作業です。



「会報」は春と秋の年2回、会員の感想などを載せて発行しています。また事務連絡は毎月、先月の活動報告と当月の活動日程などの「お知らせ」です。今後「254花の会」は、「道路清掃活動」を一歩進めて、ゴミを捨てにくくするための、環境美化運動に取り組んでいきます。その一環として、花いっぱいにしていこうというものです。

更には、リタイヤした方々の地域における社会貢献活動として価値ある運動であるとも位置づけることも出来ましょう。協力いただいている「ホンダ学園」の学生の皆さんの場合は、将来の国際人として「環境学習実践の一部」とも位置づけられているようです。

まして、「花を植える」ということは、草花の好きな人々にとっては、汗は流れても、楽しい作業だろうと思います。ただ、ゴミをひろうというだけでは、多くの人々を永続的にロードサポートにひきつける魅力は少ないのではないかと感じております。「花で飾る」という一段進めたところに、志、モチベーションが生じて、ボランティア活動を誘発するものが存在することになるのではないかと感じております。私どもの「254花の会」が、その後大井町で相次ぐロードサポートグループ誕生の引き金となったのではないかと思いますし、そのパイオニアであったと自ら認識しております。

色々な場で、私どもの活動が話題になるようになりました。昨年12月には、大井町花いっぱい秋のコンクールで「優秀賞」を受賞しました。これからも、広い層から支持され協力が得られる会として、ロードサポートシステムを積極的に推進してまいりたいと考えております。

色々な場で、私どもの活動が話題になるようになりました。昨年12月には、大井町花いっぱい秋のコンクールで「優秀賞」を受賞しました。これからも、広い層から支持され協力が得られる会として、ロードサポートシステムを積極的に推進してまいりたいと考えております。

東松山市立松山中学校(東松山市)

活動人数：501名

活動路線：県道深谷東松山線 県道大谷材木町線

発表者：小杉 歩惟さん 松本 愛美さん



松山中学福祉委員長の小杉歩惟と松本愛美です。よろしくお願ひします。

本校の活動について報告します。本校では年5回程度、東松山市役所付近から法務局の区間400mの道路清掃を行っています。内容は、ゴミ拾い、落ち葉はき、道路整美で

す。活動のきっかけは3年前になります。当時は、道路にたくさんの吸い殻やゴミが落ちていました。それを、どうかしたいと考え、前生徒会が立ち上がりしました。平成14年に福祉活動をさかんにすると言うことで、福祉委員会が発足しました。そして福祉運動の活発化ということで年間5回程度のロードサポートへの参加のきっかけとなりました。

次に活動して良かったことは、道路がきれいになることはもちろんのこと、市民の方々から「がんばっているね」、「ご苦労様」や「ありがとう」などと声をかけられた時は、本当にロードサポートに参加して良かったと思いました。他にも、参加者一人一人に道路を汚してはいけないという、道路愛護精神が身に付いてくれれば良いなと私は思っています。1回1回、回を重ねるごとに、みんなの表情が明るくなったりしていくのが分かります。私には、ロードサポートを通して積極的に活動することの大切さや、ボランティア活動を楽しんでいるのが伝わってきます。このようにボランティアという貴重な

な時間の中で、参加した人がまた参加したくなるようなボランティア活動をしていきたいと思っています。

活動の苦勞は、参加者が少なかった時、思ったよりも作業ができずきれいにならなかった時、風が強く、ゴミや落ち葉を集めても集めてもとばされて何回もやり直したこと、参加してもまじめに活動してくれない人。中でもこれが一番つらかったことで、自分たちがきれいにした道路を汚された時です。でも、私たちががんばって清掃をしている姿を見て、今まで汚く使っていた人もこれからはきれいに使ってくれると私は信じています。

周囲の反響は良くて広報に載ったり、本校の掲示板にも活動中の写真が掲示してあったり、地域の方々にもがんばっているとのことで評判はとてもいいと言われております。そのため、最近参加者も増え、活動幅が広がり、今までできなかったこともできたり、予定していた時刻より早く終わったりと、より安全に活動ができるようにもなりました。

問題や改善点は、ロードサポートの場所しかきれいになっていないこと。活動によりゴミ袋がいっぱいになります。このように、道路マナーの非常識化、ポイ捨て、置きタバコの増加などが見られます。私たち福祉委員会だけでは、とても改善できないものも多くありますが、福祉委員会として、学校全体にポイ捨てや道路マナーの見直し、ボランティア活動の活発化をポスターなどで呼びかけていきたいと思ひます。

今後の目標は、参加者一人一人がロードサポートに参加して、街がきれいになって良かったと思えるような活動。積極的に、自ら活動すること。地域の方々との交流を図り、街ぐるみでお互い協力すること。そして、東松山市を日本で1番きれいな街にすることが私たちの夢です。この活動を一人でも多くの人に目にとめてもらい、道路はゴミ箱でないということを理解してもらいたいです。

このほかに、本校ではボランティア活動として10月から12月の2ヶ月間は早朝より、学校周辺道路の落ち葉はきを全校生徒で行っています。そのほかにも、下沼公園など市内3箇所の公園清掃を月に1度実施したり、落書きがひどい壁などは、落書き消し隊できれいにしたり、福祉エリアに行き介護を行っています。また、市役所の協力により駅構内や周辺の清掃活動も行っています。



5. 花のお世話をしている団体の皆様へ

道路の清掃美化活動のほか、沿道の花壇などで花の世話も手がけている団体の方から、土づくりや普段の世話の仕方などといった、花の育て方についてのご質問をいただくことがあります。

このような時は、「埼玉県花と緑の振興センター」へお気軽にご相談ください。

「埼玉県花と緑の振興センター」では、広く県民の方へ緑化に対する関心を深めていただき、緑化に関する知識を高めていただくために、電話や来所による園芸相談や園芸の基礎を学ぶ教室の開催などを行っています。

所在地：川口市安行1015

アクセス：東川口駅の南口から、国際興業バス 西川04系統・西川口駅東口行き（慈林経由）で約20分

「花と緑の振興センター」下車徒歩1分または埼玉高速鉄道戸塚安行駅1番出口から徒歩約1.3km

電話：048-295-1806（電話での相談時間は午前8時30分～午後5時となっています）

F A X：048-290-1012

ホームページ：<http://www.pref.saitama.lg.jp/A06/BQ30/index/ichi.htm>